

キャンパスライフに対するアンケート結果（令和2年度）

稲吉政岳、林 正樹、渡邊千春、桑原真裕子、竹村 香、
新井奈津美、小池美津貴、武分祥子、三浦弥生

1. 目的

本学学生の学生生活に対する満足度、学生の知識・能力の変化、教育に対する満足度を調査することにより、教育内容や短期大学スタッフの在り方を見直し、今後の教育活動や業務活動の改善及び充実を図る一助とする。

2. 調査方法

(1) アンケート調査

(2) 対象：本学に在学する全学生（悉皆調査）

(3) 調査期間：令和3年1月20日～1月24日

(4) 調査内容：質問項目は、対象者の属性、サポート体制、教育施設・設備、入学後の能力や知識の変化、学生生活等の満足度、教育への満足度、学習時間

(5) データ収集方法：オクレンジャーによるアンケート内容の送信と各自入力後の返信

(6) 分析方法：単純集計（オクレンジャー）

3. 結果

対象者数 500 人中回収数 411（回収率 82.2%）

(1) サポート体制

履修登録や単位取得について相談できる体制については、90.7%が整っていると回答した。

休校などの連絡が学生にわかりやすく情報提供されているかについては、75.3%が提供されていると回答した。

学生便覧を活用しているかについては、53.3%が活用していると回答した。

からだやこころの健康について相談できる環境があるかについては、8割がその環境にあると回答しており、その理由は、健康センターの存在やアドバイザーの相談体制の充実であった。

職員の対応に満足しているかについては、財務・庶務課、広報課、教務課、学生課、地域連

携センターおよび図書館の全てにおいて、満足、まあまあ満足と回答した者が9割以上であった。

(2) 教育施設・設備

講義室、実習室の教育施設に満足している者は89.2%であった。

教室の空調の効きについては、十分と回答した者は7割であった。

キャンパス内の美化については、88.7%が行き届いていると回答した。

駐車場については、利用者の63.2%が利用しやすいと回答した。

(3) 学生生活の満足度

入学した時点と比べた能力の変化については、一般教養で94.3%、専門知識で98.5%、知識が増えたと回答した。

本学に入学して満足しているかについては、88.7%が満足、まあまあ満足と答えたが、満足と回答した者は41.8%であった。

4. 考察

(1) サポート体制

履修、健康面のサポート体制は比較的整っている。学生便覧の活用の充実が求められる。

職員の対応については、満足を得ている。

(2) 教育施設・設備

空調、駐車場の整備を今後も心掛ける必要がある。

(3) 学生生活の満足度

専門知識、一般教養とも修得できたと感じている。本学に入学してよかったという満足度をより向上させていく必要がある。

5. まとめ

ここで得られた結果を各部署で共有し、連携の下で、学生の満足度を向上させていきたい。